



な か は ら

学校教育目標：

心身ともに逞しく、主体的にねばり強く学び、思いやりのある児童の育成

文責 校長 池田 雄一郎

アイガモを通して ~命の大切さを~

本校では、地域の方の協力を得て米作りを行っています。本年度で23年目を迎えています。本当にありがたいことだと思っています。

さて、写真にもあるように5羽のアイガモを水田に放ちました。ところが、7月に入り相次いで害獣にやられてしまいました。毎日当番を決めて餌やりをしていた4年生にとって、本当にショックな出来事だったと思います。と同時に、自然界の厳しさも肌で感じたのではないかと思います。

暑い夏を乗り切って、9月初めのアイガモとのお別れ会を迎えられますように。



「1学期を終えて」

1学期終業式より

7月20日(木)1学期の終業式を行いました。インフルエンザが大流行し、全員そろっての終業式とはいきませんでしたが、ようやく1学期を終えることができました。まずは、命を落としたり、大きな事故がなかったことは本当によかったと思います。

さて1学期の始業式では、中原小は、蒸気機関車 SL 中原号であるという話をしました。

6年生は、先頭車両として行動していました。5年生もだんだん高学年らしく落ち着きが出てきました。4年生は、アイガモを育てて命の大切さを学びました。3年生は、しっかり勉強ができるようになりました。2年生は、トイレのスリッパがいつも見事に並んでいました。1年生、大きな声であいさつができるようになり、立派な小学生の仲間入りができました。このように、それぞれの学年が、この3ヶ月半で成長してくれたことをとてもうれしく思います。

これから38日間という長い休みに入ります。いろんなルールがありますが、すべて命を守るためです。校長先生からお願いが一つあります。それは、しっかり先のことを考えて行動し、命を守ることです。

いったん子どもたちをご家庭に戻すこととなりますが、たくさん経験をして、また元気に学校生活を送ってくれればと思います。それでは、2学期、また元気な姿を見せてください。

地域の子どもは、地域で

7月18日(火)地域の民生委員・児童委員の方と情報交換会をしました。登下校の様子や自転車の乗り方など様々なことが話題になりました。

ここ3年間、コロナ禍でなかなか子どもたちと接する機会がなく、子どもたちの顔もわからない状況になっていました。しかし、新型コロナウイルスが5類に移行してから、ふれあう機会が増加し、民生・児童委員の方々もしっかり協力していきたいとのことでした。

毎週水曜日に正門前の交差点で交通指導をされています。今後は、さらに授業の様子なども見てもらうように取り組みを進めていきます。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

